

## 第73回電力・ガス基本政策小委員会に関する意見

2024年4月17日

一般社団法人日本経済団体連合会  
資源・エネルギー対策委員会  
企画部会長 武田 孝治

第73回電力・ガス基本政策小委員会における議題につき、以下の通り意見を提出いたします。

### 資料3～5：IEA、欧州委員会、日本エネルギー経済研究所ヒアリング資料

特に欧州は、自由化を進めつつも、ロシアのウクライナ侵攻に端を発するエネルギー危機や、脱炭素化に向けた再エネ導入拡大の影響を鑑みて、発電分野では英国・EUとも脱炭素電源や柔軟な供給力の確保に対する政府介入の姿勢を強めるなど、各国とも安定供給の面に手厚いシステムを構築しようとしていると受け止めた。

今後、我が国では、さらなる電源の脱炭素化を図りつつも、現状に即して安定供給と経済性を確実に担保し、適切にバランスさせていくという難しいかじ取りが求められる。

各国は多様な制度をそれぞれ組み合わせて導入している。日本にとっての最適な組み合わせの参考とすべく、事務局においても、各国の制度とその組み合わせのあり方を分析していただきたい。

そのうえで、そうした諸外国の制度との比較も参考に、電力システム改革を経た日本の制度について、制度設計・導入時点からの状況変化に照らして、どのような点が成功しており、あるいは失敗であったのか、事務局としての評価を示していただけることを期待する。

以上